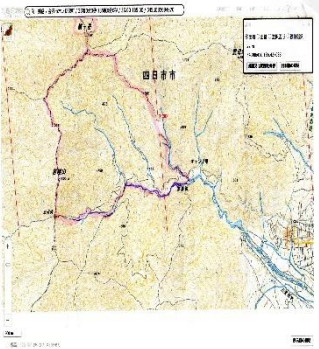
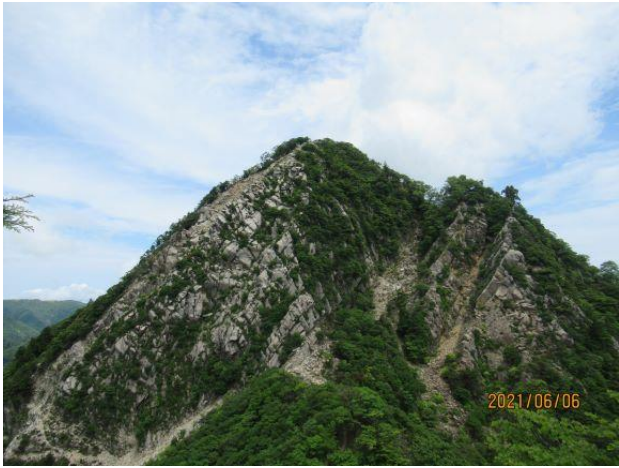
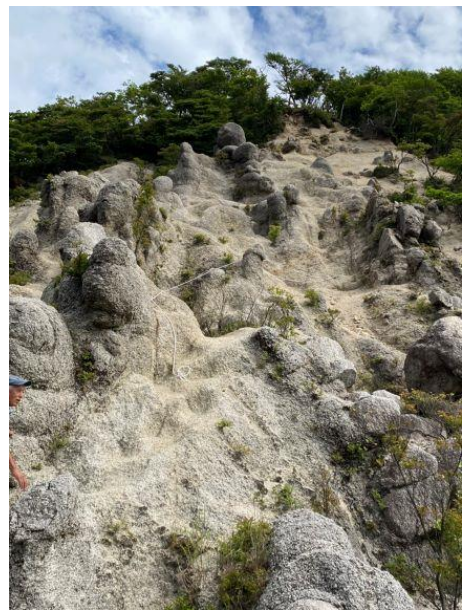


6月6日 鎌ヶ岳

若林 憲治

山名	鎌ヶ岳 (1,161m)	山行名	個人山行	
ルート	宮妻峡カズラ谷登山口⇒鎌ヶ岳⇒水沢峠⇒宮妻峡カズラ谷登山口			
山行日	2021年6月6日(日)	天候	小雨～くもり～晴れ	
参加者	リーダー：若林 サブリーダー：吉澤 男性：平尾 西川 木元 森本 田中 土岐 女性：倉光 上田 大林 玉置 合計：12名			
宮妻峡カズラ谷登山口⇒鎌ヶ岳山頂⇒水沢峠⇒ 宮妻峡カズラ谷登山口 	コースタイム			
	地名	時：分	地名	時：分
宮妻峡カズラ谷登山口	集	8:30	着	
	発	8:40	発	
鎌ヶ岳山頂	着	11:30	着	
	発		発	
鎌ヶ岳山頂	着		着	
	発	12:15	発	
水沢峠	着	14:30	着	
	発	14:40	発	
宮妻峡カズラ谷登山口	着	16:45	着	
	発		発	
山行報告				
<p>6時30分新田辺駅2台の車に分乗 乗車時全身体温測定後参加者全員平熱であることを確認後出発 2時間(8時30分)で宮妻駐車場到着 梅雨を避けたのか駐車場には数台の車のみで少し拍子抜け感も登山時の 密 を避ける事は出来た。</p> <p>関西地区はまだ梅雨も明けず台風による影響も心配される中では有ったが台風も南で温低になり、梅雨の谷間に当たり登山口到着時小雨も歩き始めると曇りから快晴になり湿度の高い蒸し暑い中での登山になるも、鮮やかな新緑の間から時折吹き抜ける心地よい風を体感しながら登山を楽しむ事が出来た。4月10日の下見の環境とは変わっていた。数日前から降り続いた雨の影響で増水も何とか渡り切れる水量状態で幸いした。</p> <p>鎌ヶ岳登山の魅力は槍の穂先(マッターホルン)の様に花崗岩が風化した山容と落葉樹に覆われ四季を通して楽しむ、休憩ポイントからは鈴鹿山系 御在所岳 四日市 琵琶湖等の景観が楽しめるコースでは有るが、反面写真ポイントが多くてコースタイムが長くなる事には寛大に対応が必要なコースでもある。今回 立案の段階で余裕タイムを設定 ほぼ余裕時間内で下山する事が出来た。帰りの高速道路が交通事故に絡む工事の影響により3時間かけ全員無事に20時過ぎ帰宅 西川さん 土岐さん車提供有難うございました。お陰で安価な山行が出来ました。この時期の鈴鹿山系 ヒル 被害を考えていたが下山後被害が出る事になった。此れからの登山や沢歩きには ヒル と アブ 対策には充分注意して頂きたい。</p>				
ヒヤリハット 無し				





感想

西川 洋

御在所岳南側の真向かいに見える三角形のきれいな形をした山で、いつか登りたいと思っていた山のようにやく登れました。

朝からの小雨で湿度が高く気持ちが悪いくらいでしたが、昼前ごろから天気が回復、すっきりした青空になり風も爽やかでした。県境稜線登山道は、アルプスのような美しい景色が広がります。こんなに素晴らしいところがあったのかと思うほどでした。機会があれば皆さんも是非トライしてみてください。

玉置 安世

登山口に近づくにつれ雨模様。雨具を着て出発。登山ガイドには上級者コースと書いてあったのを思い出して不安がよぎる。頂上に近づくにつれ岩岩が姿を現し歩くの楽しい。

もう少し続かないかなあと。登ったり下ったりアルペンムード満点。歩く途中いっぱい花の名前を教えてくださいました。

またお気に入りの山が増えました。次は雨乞岳に行ってみたいです。

楽しい山行ありがとうございました。

木元 隆司

鎌ヶ岳は、昨年、御在所岳から見て、その尖ったピラミダルな山容がすばらしく、いつか登ってみたいと思っていました。

当初の晴れ予報が、台風から変化した温帯低気圧の影響を受け、小雨の中のスタートとなる。急登が延々と続く。蒸し暑さがスタミナを奪う。久しぶりの登山は結構しんどい。

鎌ヶ岳は花崗岩から成っており、山腹は風化による崩落が激しい場所がある。登山道もザレ場となっており、滑りやすい。ホールドとなる木や岩がない急斜面もあり、難儀する。登るにつれて徐々に天候も回復し、晴れ間が見えてきた。ブナの葉が陽光を浴び光って美しい。山頂近くになると、所々涼風を感じる場所があり、気持ちいい。山頂で昼食をとった後、下山。身体が暑さに少し慣れてきたが、大回りのコースで、下りは上りの2倍の距離があり、まだまだハードな状況が続く。山頂から水沢峠までは短いアップダウンが続く。せっかく下ったのにまた上りという繰り返し。しかし、眺望がいい場所があちこちあり、ほっとする。ザレ場の後は、沢のガレ場で、緊張が続く。スタートからゴールまで、約8時間と長丁場。かなり疲れたが、山登りを満喫しました。みなさん、ありがとうございました。

2回目の鎌ヶ岳でした。1回目は2017年7月2日の夏山トレーニングで、三ツ口谷登山口から長石尾根分岐をへて鎌ヶ岳山頂、下山は武平峠へ降りるルートでした。今回は、宮妻口からカズラ谷に入り、尾根筋を登り雲母峰分岐をへて岳峠から大ガレを上り山頂、下山は鎌尾根を西南から南へアップダウンを繰り返して、水沢山（宮越山）を経て水沢峠から下るコースでした。駐車場から雨が降り出し雨具をつけての出発でしたが、まもなく雨もあがり、昼前からは晴れて岳峠から見上げる鎌ヶ岳の大ガレが青空に映えていました。岩場あり展望よしで「鈴鹿のマッタホルン・槍ヶ岳」とよばれる鎌ヶ岳の魅力を味わえたコースでした。また、途中たくさんの植物、花に出会えて鈴鹿の自然の豊かさを感じることができました。ヤマツツジにサラサドウダン、ベニドウダン、タニウツギなどのオレンジや赤い花が満開。オオイワカガミも2、3咲き残っていました。ホオノキ、ウツギ、ツクバネウツギ、シロヤシオ、フタリシズカ、エゴノキ、ギンリョウソウなどの白い花、リンドウのなかま（フデリンドウ？）の薄青色の花、タンポポに似たヤマニガナの黄色い花が咲いていました。キノコ岩の先で出会った紫色の小さな花は立ち止まって見ることはできませんでしたが、もしかしたらイナモリソウ（アカネ科）かも。その他ショウジョウバカマやシロモジ、シャクナゲの木がたくさんあり時季を変えて楽しめる山だと思います。鎌ヶ岳の山頂の北東斜面のブナ原始林は県指定特別天然記念物になっており、機会があれば再訪したいと思います。山頂と鎌尾根の下山路でよく見かけた白い花は、バラ科のカマツカです。漢字で「鎌柄」とかき、材が堅くて丈夫なので「鎌の柄」に使われたのが名の由来。牛の鼻輪にも使われ別名はウシコロシという物騒な名です。北に御在所岳、西北には雨乞岳や綿向山、南に入道ヶ岳、東は四日市の市街や伊勢湾が見え展望を楽しみながらの尾根歩きでした。出発前からヒルが出現、駐車場に戻ってから靴に2匹が見つかり被害者も1名ありました。さすが鈴鹿の山、昔からヒルで有名だったのでスプレーを持っていきましたが、残量が少なく十分防御できず残念でした。みなさん楽しい山行ありがとうございました。（参考資料：鈴鹿の山 花図鑑）



岳峠から大ガレ



鎌ヶ岳から水沢山方面の鎌尾根



サラサドウダン



ツクバネウツギ



カマツカ



ブナ林